

令和6年4月役員会便り

理事会と同時開催なので、理事会欄に掲載の理事会議事録速報と同一内容です。

開催日時・開催場所・出席者

開催日時	令和6年4月20日 午後4時		開催場所	ブリックアンドウッドクラブ	
出席者 (敬称略・議長以外各50音順) リモート参加も議決権を有す。 委任は理事会のみ	取締役兼理事 13名	議 場	田井 (理事長)、木内 (代表取締役・副理事長)、岡崎、片岡、小宮山、中川、新田見、村岡、村瀬、		以上 9名出席
		リモート	井上、草深、橋本		以上 3名出席
		欠席	生木 (田井氏に委任)		合計 12名出席
	執行役員兼理事 2名	議 場	野村		以上 出席 1名
		リモート	寺島		以上 出席 1名
	欠 席	無し			
	最高顧問兼理事	議 場	坂		以上 1名出席
	以上理事 16名	委任状、代理を含め合計 16名出席			
	監査役兼監事 2名	議場	無し		以上 0名出席
		リモート	無し		
		欠席	高橋、角川		
傍 聴	理事でない執行役員 4名	議 場	井口、篠本、雪		以上 3名出席
	MFC 管理組合	議 場	出席無し		出席 0名
	事務局	議 場	松本、杉田		以上 2名出席
	その他	議 場	中島健一郎 (コジロー)、檜垣美子 (フェローシップ委)、加藤啓輔 (競技委)		以上 3名出席

理事会は議事を行うための定足数を充足、取締役会も議決を行うための定足数を充足。

議題

理事会

1. 委員会報告

① 競技委員会 (寺島委員長)

- ・次期委員長 (11月以降) に内定している加藤啓輔氏の紹介 (その後、議場にて加藤氏ご本人の挨拶があった。)
- ・添付資料に基づき、5月に開催される関東倶楽部対抗や、4/21開催の理事長杯についての説明がなされた。

② クラブライフ委員会 (井上委員長)

- ・直近 (4/11) に開催されたクラブライフ委員会での論議について、資料に基づいて報告がなされた。1か月後に迫った開場記念祭 (5/18開催予定) を始めとして、今後予定されているイベントの準備状況等につき説明があった。
- ・開場記念祭については、申し込み状況が順調で参加者多数の為、スロープレーによって予め決めた時間通りに進まない懸念があることが共有された。対応策としては、フェローシップ委を中心とするプレイファストに向けた啓蒙活動、当日のマーシャルによる巡回、コンペルールの工夫 (男性も70歳以上については赤ティーからのティーショットを可とする、等) 等の案が提出された。

・5/25の「エール大学アカペラコンサート」は、17:30～を予定しており、理事役員会と日時が重複する為、来月の理事役員会は開始時刻を15分早め、15:45スタートとすることがその場で決定された。

・施設改善関連。4番赤ティー向け注意喚起看板については、事務局より「既に完成しており、あとは設置するのみ。」との回答があった。

③ グリーン委員会（村岡委員長）

・フェアウェイの所々に生えている雑草は「スズメノカタビラ」。キーパー曰く「気が付いた方はプレー中に抜いていただいて構わない。」とのこと。

・4/7にFG杯（フェロー委とグリーン委の対抗戦：HCによるマッチプレイ）を実施したのだが、クラブHCが実態と合っていないケースが少なくないと感じた。月例に参加していない方は結果的に実力に比してHCが多いままとされている。

・4/20の朝に行なわれた管理ミーティングでの論議（播種、施肥、ティーイングエリア更新、バンカーの砂補充、グリーンの部分張替え）について、口頭で報告がなされた。

④ 広報委員会（野村委員長）

・3/25に行なわれた広報委での論議内容について、口頭で報告がなされた。6月半ばに発行予定の次号のNewsLetterの内容がテーマ。ホテルの宿泊体験記、瀬倉さんインタビュー、理事長杯、開場記念祭を予定している。

⑤ ジュニア委員会（田井理事長）

・4/14に行なわれたジュニア委員会での論議について、添付議事録に基づいて説明がなされた。

・ジュニアレッスンの規定を作成した。種々論議のあった「天候判断」については、「前日の12時時点でお天気サイトのウェザーニュースで当日の雨量3ミリの予報が出ている場合、中止の決定をし、クラブから保護者に連絡する。」ことと決定された。

・開場記念祭の際のジュニアプログラムの内容につき、説明がなされた。

⑥ ハンディキャップ委員会（中川委員長）

・3月に半期に一度となるハンディ増査定を行ない、62名が+1、13名が+2となった。

・グリーン委から指摘があったが、当クラブの場合、HC査定材料となるのが公式競技のみであることから、クラブHCと実態との間に乖離が見られることが少なくない。乖離を縮小するためには、「特別査定」をきめ細かくやっていくしか無いのではないかと考えている。

⑦ フェローシップ委員会（小宮山委員長、檜垣美子副委員長）

・直近の活動（委員会としての啓蒙活動を中心に）について、口頭にて報告があった。ボールマーク対策としてのフリーフォークの設置、目土の啓蒙活動、FG杯等。

2. 2025年2月1日(土)貸切営業について

ネットワンシステムズ株式会社の社内コンペ（約40組）を実施する予定であることが共有された。

以上

取締役会

開催日時 令和6年4月20日（土曜日） 午後4時～
開催場所 ブリックアンドウッドクラブ ラウンジ棟中二階 今回も理事会と同時開催。
リモート参加を可能とし、リモート参加者も出席者として議決権を有する。

議題

議決事項

- (1) 株式譲渡承認について
優先株1株の譲渡が承認された。

報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

資料添付

	本年3月	前年	前年比	内平日	前年比	内土日祝	前年比
営業日数（日）	28	28	0	17	-2	11	+2
来場者数合計（人）	2,775	2,496	279	1,203	-367	1,572	646
内 M	1,555	1,293	262	460	-145	1,095	407
G	805	716	89	356	-148	449	237
V	166	175	-9	138	-11	28	2
N	249	312	-63	249	-63	0	0
ゴルフ場売上高（万円）	2,520	2,120	400	1,034	-315	1,486	+715

3月の来場者数は2,775名で前年比279名の増加。（無料来場者が118名減少なので有料来場者は116名増加）平日は営業日数が2日少なく367名減少し、土日祝日は営業日数が2日多く646名増加した。平日は雨の影響の日が多かったが、土日祝日は雨模様でも売り上げ極端に少ない日は無かった。この結果、ゴルフ場売上は、2,520万円で前年比400万円の増加となった。今期初9月から2月迄7か月間のゴルフ場売上げは17,020万円で前年同期間比1,304万円増加中。

4月19日迄の経過

来場者数は1,550名で、前年同日比62名の減少。（無料来場者が16名減少なので、有料来場者数は46名の減少中。）前年同日比は平日土日とも雨の影響が有るが、平日は営業日数が2日多く135名増加、土日は営業日が2日少なく197名減少中。
ゴルフ場売上げは1,462万円で、前年同日比43万円減少中。

(2) 最近月の入退会状況について

3月の入会は親族間を除き1口1名（大島様）だった。期中入会者数合計（除く親族間変更）9口10名。4月の入会予定者15日現在が3口3名（濱邊様・羽柴様・山本様）有るが、これを含めても12口13名で、期中入会者数目標30口勘案、入会者獲得に多大な努力を要す。

(3) 当期中間決算の見込について

当社当期（第38期）の2月中間決算は未確定であるが、損益計算書の概略下記通りの見込。

税抜 単位 千円

	前 37 期 中間	当 38 期 中間	前中間期 比増減	備考 増減要因
売上高	192,411	192,497	86	
内コース使用料	92,922	96,749	3,827	来場者数増加
食堂 売店収入	38,280	42,455	4,175	来場者数増加
入会金収入	3,500	1,000	-2,500	親族会員入会減少
名義変更料	10,000	6,800	-3,200	株式会員入会減少
販管費	178,652	188,278	9,626	
内人件費	84,550	83,041	-1,509	社員数減少
燃料費	7,688	7,277	-411	重油代が 4,390 千円で、486 千円減。単価 87.8 円で-7.3
水道光熱費	7,859	6,962	-897	ゴルフ場電気代 5,701 千円で、1,212 千円減少
消耗品費	3,633	6,206	2,573	古民家ホテル 2,282 千円発生
支払手数料	14,861	20,372	5,511	社員採用手数料+3600 千円、支払報酬+975 千円
地代家賃	6,314	7,475	1,161	社宅用家賃+864 千円、古民家ホテル 300 千円
保険料	2,227	2,934	707	ゴルフ場超ビジネス保険+683 千円
修繕維持費	1,292	2,240	948	カート修理代 531 千円増、ラウンジサッシ修理 195 千円
クリーニング費	998	1,768	770	ホテルのクリーニング代発生 446 千円。
ゴルフ場管理費	17,062	19,050	1,988	バンカーの測刈込等外注 1,291 千円発生。
減価償却費	11,965	9,897	-2,068	償却資産減少
営業利益	-1,706	-14,438	-12,732	
経常利益	-1,484	-13,414	-11,930	

(4) プレー費・年会費の見直しについて

上記上半期の決算を踏まえると、下半期は例年売り上げが増加し利益が増えるが、当期は人件費等の増加が見込まれるので、昨年度に続き厳しい内容になる見込みで、年会費やプレー費の見直しが必要の状況。来期初から実施するためには、遅くも 6 月の理事会で決定する必要があり、次回 5 月 25 日の理事会で具体的検討が必要な状況。

① 木内社長より以下の補足説明があった。

- ・コジローからの借入残高は、あと残り 3,000 万円強。この他に、2015 年に集めた 10 年有期保証金が 7,000 万円ある。これらを返済するとともに、キャッシュフローの確保の観点から、年間 3,000 万円くらいの利益を安定的に確保して行きたい。経費増が見込まれる中、そのためには、売り上げを増やしていく必要がある。

- ・そのための手段として、年会費とプレーフィーを如何に運営して行くかを検討する必要がある。

- ・年会費については、数年前に定量的なスキームとしてルール化した経緯にあり、こちらを整齊と運営していくこととなるが、一点、現在のルールで行くと年度の途中で追徴を行なう形になることから、期初に一括で貰ってしまうということも検討すべきかと思う。

- ・プレーフィーについては、ご承知の通り一部のプランは 7 月プレー分から引き上げが決定され、これにより、来期の収益に 500 万円のプラス影響が出るのではないかと考えている。その上で、ゲストフィーについては多少の引き上げを行なっても良いのではないかと考えている。他方、メンバーのフィーについては据え置く方向。

② その場にて各役員より、以下の意見が出された。

- ・メンバーの年会費を引き上げるのであれば、ゲストフィーも上げるべきである。
- ・プレーフィーを上げる場合には、引き上げの理由を明確に開示すべきである。(→事務局より、「近隣の他クラブとの比較で行くと、当クラブの土日のプレーフィーは割安になっている。」とのコメント有り。)
- ・ツーサムプレーに対し、割増を課すべきではないか。
- ・カート使用料を定額で決め、一組の人数が少なければ割高になるよう設定してはどうか。(→木内社長より、「オペレーションの複雑化は避けるべきと考えている。」とのコメント有り。)
- ・年会費の追徴を期初に行なうことについては、納得感のあるルール化が出来るのであれば、有り得るかと思う。
- ・年会費もプレーフィーも20年に亘って改定されていない。そろそろ「割り勘精神」に基づいて引き上げを行なっても良い頃合いではないか。

(5) 古民家エリアのミュアヘッド・フィールズ ブルーリーフ事業について

その後の経過について報告。なお、名称は「ブルーリーフ」となった。

① 坂最高顧問より、以下の説明があった。

- ・BWCの基本は「メンバーシップに基づくクローズドクラブ」であるが、ホテルを皮切りに順次各種のサービス提供を開始しつつあるブルーリーフは、クラブの外向けに開いた窓口 (Gateway) としての役割を担う場所として位置付けられる。
- ・コミュニティの開発が一巡し、メンバーの意識が変化しつつある中、新規メンバーの募集が停滞しつつある。現在販売中で残り6台となったトレーラーハウスは新規メンバーを獲得するための重要なツールであり、従業員には営業への注力を強く促しているところである。
- ・5/24にはマーケット(物販店)がオープンする。レストランについては現在試行錯誤中であるが、近日中に整理し、開業に向けての軌道に乗せたいと考えている。
- ・いずれにしても、利益の柱を増やすことで、経営の多角化、安定化を図って行きたい。

② 杉田課長より、「ホテルの売り上げについては、4月が35万円、5月は45万円程度となる見込み。」との説明があった。

③ 以下の質疑があった。

- ・ホテル利用者の評判はどうか。(→評判は上々であり、体験記を広報することを考えている。近々、夕食付のプランを準備し販売する予定。)

(6) コースの状況について

グリーン委員会の報告に追加点が有れば報告。

→ 特に無し。

(7) 施設の有効活用について

①特に報告事項が有れば報告。

→ 特に無し。

(8) ミュアヘッド・フィールズ、ミュアヘッド・ミュージアムに関して

①特に報告事項が有れば報告

→ 特に無し。

(9) その他

→ 特に無し。

→上記(1)から(9)について報告を受け、協議の結果了承した。

以上